

## 石井 一夫・恵理子

石井食堂

昭和31年（1956）、葛尾村生まれ。

東京で自動車整備士として就職。妻、恵理子さんとは、免許取得のために  
帰郷した際に出会い結婚、石井家に入る。2代目として引き継ぎ、夫婦で石井食堂を  
切り盛りしている。原発事故により全村避難となり、三春町の仮設店舗で食堂を継続。  
2016年の避難指示解除を機に、葛尾村で営業再開した。

葛尾は原発の事故で全村避難になってしまった。でも私たちは「戻って、  
また店をやろう」と思っていて。三春の仮設住宅に仮店舗を作っていた দিয়ে、  
仮営業しましたが、常に「早くどうにかしなきゃ」という気持ちでやっていたんです。  
今は思い出せなくなってきたけど、仮店舗での営業は暑いし手狭だったし、  
避難生活は大変なこといっぱいありましたよ。村民の悩みは同じだったから、  
仮設の中ではあまり苦勞とは思っていなかったかもしれない。村で再開するときは  
セレモニーやるってことで、大急ぎで準備して、半年くらい仮設と行ったり  
来たりしながら営業しました。なんだかずっとのんびりできなかったし、  
思い返せば色々あったよね。おかげさまでお客さまはたくさん来てくれるけど、  
地元の人は少ないね。村民が戻ってこないことは寂しいけど、  
ここで働いてくれる人たちが温かい食事を喜んでくれていることが励みです。  
10年経って、今度はコロナだもん。ほんとに色々あるよ。震災は頑張れば  
お客さまが来てくれて取り戻せたけど、今回は日本中の商売が難しいね。  
うちは息子も一緒に頑張ってくれているし、たくさんの助けがあって  
ここまでこれたから、何とか続けていきたいと思っています。



建物を新しくして営業再開。葛尾村で唯一  
食事ができる店として、連日多くの客で賑わう